



ニュースレター あすか



通算 214 号

2011年1月1日

新年の挨拶



医療法人あすか
理事長 高橋 勲



明けまして
おめでとうございます

2010年は、介護保険制度施行後10年目の年でした。この10年、急速な高齢化とともに、介護サービス利用者、介護サービス提供量ともうなぎのぼりに急増しています。今では、この制度は日本の社会においてなくてはならない必須のものとなっています。これからは、そのサービスの質の高さ、また、どれだけお一人おひとりのニーズにあったものであるか、既製品ではなく、オーダーメイドのサービスが提供できるかが問われる時期になっていきます。

私どもの仕事が、そして職員が、かけがえない、みなさまの人生を豊かに幸せにしてくれる伴走者となるのが出来ればと願っています。

このような思いから、2010年、医療法人あすかでは、リハビリテーションのよりいっそうの充実、園芸療法の新しい展開、「夢をかなえるプロジェクト」などに取り組みました。中でも、「夢をかなえるプロジェクト」ではさまざまな活動が始まりました。11月20日の交流会では、参加のご利用者、ご家族に報告させていただきます。

また、高齢者にとっては、生活習慣病の予防管理がとて大切で、高血圧、高脂血症、慢性腎臓病、糖尿病などの慢性疾患のある方の服薬および生活管理をきめ細かく着実に実行していきたいと思えます。さらに、インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンの接種、生活指導、転倒防止教室など疾病や事故の予防にも力を入れていきます。

新しい年は、これらの取り組みがよりいっそう実りあるよう、ご利用者の方、ご家族とのコミュニケーションをより深めていきたいと思えます。また、職場内、あるいは職種、職域を越えてのコミュニケーションを進め、目標達成をすると同時にそのプロセスを大切にしていきたいと思えます。今年もどうぞよろしくお願いたします。



【目次】

【ページ】

- 1. 各事業所の抱負..... 2
- 2. 各事業所の抱負..... 3
- 3. 第56回あすか交流会を開催しました
- 4. 夢を叶えるプロジェクト..... 4
- 5. 夢を叶えるプロジェクト..... 5
- 6. おもしろきかな我が人生
～草笛 光子さん..... 6
- 7. 若竹句会 11月作品抄..... 7
- 8. 園芸療法 第5回..... 8

“ニュースレターあすか”は当法人のホームページ上でも
見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか
(編集：浜本 正美)
住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL:082-879-3143 FAX:082-879-3190



各事業所の抱負



あすか療養センター センター長
大北 和彦

~平成22年を振り返って、また新しい年を迎えるにあたって思うこと~
平成22年もみなさまと時間を共有できたこと嬉しく思います。
新しい年も、みなさまが安心してより活動的な日々を過ごすことが出来るよう健康管理に全力を尽くします。



支援事業所 三原 千春

ご利用者の皆様のお一人おひとりの「その人らしい生活」を実現するために、各ケアマネの苦手をなくしスピーディー対応ができるようにいたします。



事務 中井 祐子

温かくてやさしいクリニックにしたいです。そのためには、職員同士目標を共有し、お互いの仕事を理解し、声を掛け合いながら仕事をしていきます。



まやるちょーく 高島 瑠美

ご利用者様がより生き生きと快適な日々が過ごせるよう、全力でサポートします。
よりよい介護サ-ビスが提供できる職員を目指します。



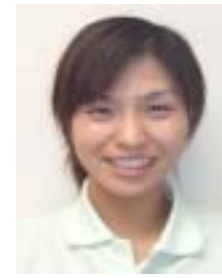
すてっぷ 山崎 章子

生活に生かせるリハビリ、楽しいリハビリを目指して職員一同笑顔で頑張ります。よろしくお願いいたします。



しゅりあちょーく 幾田 千代

今年は年女になりました。うさぎのようにピョンピョンと、楽しく動いていきます。「心も身体も楽しく元気!!」を目指します。



野ばら 小田 聖子

「楽しく生き生きと笑顔の毎日を過ごす」野ばらに職員一同頑張っていきたいと思ひます。



ショートみどりい 森元 智代

ご利用者様、ご家族様、職員が共に「あんしん」「あったか」「明るく元気」に過ごせますように取り組んでまいります



ショートいわや2F 松本 勝幾

ご利用者様の笑顔あふれる「あんしん、あったかな雰囲気づくり」を大切にしていきたいと思ひます。



ショートいわや3F 栗原 清志

利用者様の笑顔を引き出す為に職員一丸となって、今以上に信頼関係を築いてまいります。



ショートいわや4F 向井 芳郎

ご利用者様、スタッフ共にわきあいあいと気兼ねなく過ごせる場所にしていきたいと思ひます。



野の花 森岡 繁幸

ご利用者の皆さまから「ここに来ると、ホットする」という声を頂ける事業所を目指します。



つどいの家 宮崎 馨

夢と目標を持ち、明るく元気にご利用者様と過ごしていきたいと思います



病児保育室 早川 ゆかり

保護者の皆様やお子様にとって、信頼・安心できる保育室となるよう、いつも笑顔で頑張ります。



管理栄養士 奥上 美代子

ご利用者様の“身内のつもり”になって、笑顔で『美味しかった』と言って頂ける食事を提供していきます。



第56回あすか交流会を開催しました



平成22年11月20日に第56回あすか交流会を開催しました。秋晴れのあたたかい一日となり、20名の方にご参加いただきました。

今回の交流会の内容は、あすかの事業所で取り組んでいるご利用者様の夢を叶える取り組み「夢プロジェクト」を紹介させていただきました。職員一人ひとりがご利用者様と真剣に向き合い、小さな夢、大きな夢をともに語り、実現するまでの過程を、スライドを使用し説明をさせていただきました。

「岩国へ帰って自分の家で、夫婦で暮らしたい」「自分が育った宮島に行ってみたい」「家族全員で誕生会のお祝いをしたい」「菊を育てたい」「ひ孫にプレゼントを作りたい」など実現した夢を紹介させていただきました。

後半、ご利用者様、ご家族、職員との交流の場では、「ショートステイに入っている妻と一緒に夕飯が食べたい。」「日曜日に家族と一緒に食事会をしたい」などの夢を語っていただきました。



発表風景



又、お互いの悩みや体験談など介護者同士ならではの交流ができました。各事業所のスタッフも話し合いに参加し、とても貴重な時間を過ごすことができました。

ご参加いただいた方から「楽しい介護ができればいい」「ショートステイを親が利用することで、休息の時間が取れ夫婦が和やかになった。」「もっと時間があればもっと話がしたい」などの感想を頂きました。

今回、ご参加いただいた皆様まことにありがとうございました。

次回のあすか交流会は、皆様のご意見を踏まえ企画していきたいと思っております。今回ご参加いただいた皆様を始め、ご参加いただけなかった皆様も是非、次回はご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

CSクレド委員長 今中 峰三子

★ 夢を叶えるプロジェクト ★

★ ショートみどりい

★ 文化祭 ★

11/3

すべてのご利用者様に「楽しみのある生活を提供する」ことを品質目標に掲げ、5月から絵画・縫物・読書・園芸などのクラブ活動で行った作品の展示、日々の生活の様子、イベントの写真の展示をしました。

又、ご家族様にもご利用者様の日々の生活を見ていただき、スタッフとご家族様との交流を深めたいと思いご家族様に招待状を送り、当日は20家族、29名の参加がありました。

記念撮影を行い、その写真を飾るフレーム作り(写真)と厨房からの手作りデザートを全員でいただきました。



つかの間の楽しい時間と出会いに感謝しながら最後に杉丸先生の作詞・作曲の「さよなら・ありがとう」をみんなで手をつないで歌いお開きとなりました。

ご家族様にお願ひしましたアンケート用紙には「又、こういう機会を作ってほしい」、「楽しかった」など書いて下さりスタッフ一同嬉しく思いました。今後の介護の励みになりました。お忙しいところご参加くださいまして有難うございました。

★ まやるちよーく

★ おいしいものを食べたい! ★

「しっかりと歩けるようになりたい」「絵を描きたい」「家族皆が元気で過ごしたい」など、ご利用者様お一人おひとりの夢は十人十色。今回は、皆様が共通して思っておられる「おいしいものを食べたい!」という夢をまやるちよーく祭で実現する事ができました。

「おいしいものを食べ、満足感・達成感を味わい、冬に向けて体力を養おう」ということで、お祭り最後に手作りのクレープをお出ししました。

お菓子作りの得意なスタッフが、朝からクレープの生地を焼き、あずき・抹茶・生クリーム・バナナ・チョコクリームで一つ一つトッピングをしました。

クレープの焼ける香ばしい甘い匂いに、何が出てくるのだろうか?と皆様朝からわくわく楽しみにされていました。

お祭りも盛大に行われ、笑顔あふれる中、クレープが出てきました。飲み物には、ソーダ・カルピス・オレンジジュース・コーラなど、いつものコーヒーやこぶ茶に加え用意しました。クレープと言ってもピンとくる方は少ないようでしたが、食べるとびっくり!「美味しいよ!」「上手に作ってあるね。」「初めて食べたよ。」と好評でした!飲み物もほとんどの方が、普段口にする事の少ないカルピスやソーダなど、ジュースを選ばれました。帰る間際まで、「今日のおやつは美味しかったよ。」「手作り!どつりでおいしいはずよね。」と大変喜ばれました。笑顔あふれる一日でした。



パティシエ&幸せ運び隊

★ すてっぴ

★ 夢を叶えるためにはまず体力! ★

★ たくさん笑顔に出会えますように



ご利用者様に夢(目標)を伺いました。山に登りたい、旅行に行きたい、野菜を作りたい、家事をしたい...たくさんさんの夢を教えてくださいました。夢を叶えるにはまず体力!すてっぴでは体力面でお力になると、リハビリの見直しを開始しました。

あるご利用者様の夢は「岩国の自分の家で、夫婦で暮らしたい」でした。夫婦だけで生活する為には何が必要か?生活する為には、本当に必要なリハビリは?ご夫婦だけの生活を思い浮かべながら理学療法士が計画を立て、リハビリを開始しました。ご本人様の努力の甲斐あって、夢の実現まであと一歩。私たち職員も、ご利用者様と一緒に頑張っていきたいと思えます。

しゅりあちよーく

野ばら

大好きなお孫さん



五領田 貞子様は、大正3年生まれの96歳です。(要介護2 69歳の時に脳血栓で手術を行い、現在は後遺症で右うでが思うように伸ばせません。)

野ばらでは、お料理やおやつ作り、縫い物を得意とされ、「手伝つから何でも言ってるね」といつも声をかけてくださいます。

お話の中で、よくひ孫さんのことが話題になります。ひ孫さんは神戸に住んでおられ、お盆やお正月に帰ってこられます。「会う度に大きくなって、来年小学生になるんよ。」と嬉しそうにお話されます。五領田様の夢は、ひ孫さんに『得意なことを活かしてプレゼント作りをしたい』でした。

職員と話し合い、五領田様のお得意な手芸でプレゼントを作る事が決定しました。参考に手芸の本や 職員の作成した見本も見ていただき、どの作品にするか、もっと愛らしくする為にはどんなレースや生地を使用するか検討しました。

現在、日々時間を作っては、巾着やシュシュを作成されています。「もう、目が見えにくくなつてね。」と言われながらも、ひ孫さんの喜ぶ顔を思い浮かべ、一針一針 ゆっくりと丁寧縫い進められます。



手作りの巾着

ショートいわや

おしゃれがしたい

11/10

いわや2階では「暖かい家を目指して」というスローガンでゆっくりくつろいで頂けるフロアづくりを目指しています。

ご利用者様の居室にご家族様との思い出の写真を飾ったり、花やぬいぐるみ等を置いたりとその方らしいお部屋を演出しています。また、テラスで花や野菜を育て、採れた野菜をお汁に入れて食べていただくなど家庭的な雰囲気大切にしています。

「暖かい家」づくりの一環として『夢をかなえるプロジェクト』を取り入れていきます。

11月10日には女性ご利用者様の「おしゃれがしたい」の夢実現のために、イベント「美容の日」を実施しました。いわやのスタッフの中にプロなメイクの技術のある職員がいます。メイクをする方もされる方も真剣勝負。きれいに眉を描き、口紅をさすにつれ皆様表情が生き生きと変わってきました。「お化粧するのは何十年ぶり」と恥ずかしがりながらも笑顔いっぱいでした。爪にはマニキュアを塗りました。キラキラ光る爪を何度も眺めていらっしやいました。



また、マッサージのプロの職員もいます。ハンドマッサージは男性利用者様にも大好評でした。「気持ちいい」「体が温かくなる」と笑顔いっぱいの表情でした。ご利用者様に満足して頂けることに喜びを感じ、また次の「夢」実現へと取り組んでいきたいと思っています。

じいじの家

田中和子様のお里宮島に!

11/16

午前中のあるひと時、田中様と田中様のお里である宮島の話をしてしていると「宮島いきたいねー、でも一人はダメじゃけえねー」とぼつり。「宮島、ぜひ行きたいですねー」などと話をしていると、他利用者様の中から「宮島いいねー私も連れて行ってや」との声も。そんな会話から始まった今回の夢プロジェクト。そこで何名かの利用者様にも声をかけ11月16日に利用者様6名、スタッフ5名、計11名で宮島に行ってきました。田中様は宮島で生まれ20代後半まで宮島で過ごされてきました。ご実家は表参道商店街にあるお土産屋さんです。

宮島に着くと皆さま宮島の美しい風景や観光客の多さなどに終始驚き、感動されていました。また田中様のご実家では田中様の御親戚の方が出てくださり、お店に置かれていた皆さんの土産物を見せてくださいました。忙しい時はお店を手伝つこともあったんじゃあよ」など昔を思い出されているようで、すばらしい笑顔も見ることができました。

楽しみにされている方が多かった昼食では、宮島の名産である「カキ」や「あなご飯」などを前に「わー、すごいねえ」など歓声があがり大変満足されていました。宮島から帰ってきてからも興奮さめあらぬ様子で「生きてきてよかつたー」など嬉しいお言葉をたくさん聞くことができました。





おもしろきかな我が人生

「女優を楽しむ」

今年の夏、私が所属している小さなボランティアグループで女優の草笛光子さんの講演会を開催しました。タイトルは「女優を楽しむ」です。

今月の「おもしろきかな人生」は草笛光子さんの講演を11月号に引き続きお届けします。草笛さんは銀色の髪に真っ白なス・ツ、輝くような美しさでした。

77才の現在、第一線でニュー・ジカルの舞台に立たれる草笛さんのエネルギーの源泉をさぐってみました。 副院長 高橋 真弓

女優

くさぶえ
草笛

みつこ
光子さん

11月号の続き

喉が、かすれてきて声が出なくなると役者はおしまいです。先日ちょっと調子が悪いので医者に行き、検査をしたところ、肋骨に？ヒビが入っていると言われました。トレーナーに言つと、トレーナーは、「そんなことに負けてはいけません。そういう時こそ、まわりの筋肉を鍛えることが必要です。」と、いつて容赦なくトレーニンングをさせられました。結局は骨が折れていましたけど、それでもトレーニンングをすると身体がだんだん元気になってくるのを感じました。

トレーニンングをすると、転んだり、つまずいたりしません。舞台では、何秒かの間に洋服を着替え、化粧をなおす。水を飲むことをします。早変りを5回したりもします。場面が変わるとハイヒールの高さもちがうので本当に大変です。筋肉をきたえておかないと、すぐつまずいてしまいます。人からは、「その年でよくやりますね」と笑われますが、私は、トレーナーに自分の身体を預けているんです。筋肉を鍛えると身体の中に軸ができて、ふらふらしないんです。

母は私が芸能界に入った18歳から私のマネージャーを務めてくれました。私が芸能界に入った当初はとても心配していました。母とはよくけんかをしましたけれど、母の言葉は、「知恵袋」です。亡くなった今でも、「いつも、お母さんだったらどうする？」と母に聞いています。母は私より、女優になつたらいいくらいの人でした。ずっと前、私に年寄りの役が来たとき、いやだな、受けよつかどうか迷つて母に相談したら、母は、あなたの年を考えたら年寄りの

役が来るのは当たり前」と言いました。

私は妹と弟の二人の兄弟がいるんですが、母が私につきつきりだったので、二人から、寂しいしい思いをしたと言われました。母は兄弟に平等に接していたのですが、そんな思いを兄弟にさせたことは、気が咎めていました。

母が亡くなってからは、母はますます私のものになったという思いがあります。昨年は何十年かぶりにミュージカルをしました。大竹しのぶさんとの共演です。その最中に母が亡くなりました。いつかはそんな日がくると思っていましたがいざ亡くしてみると、歌と親を同時に亡くした思いがありました。母が亡くなった時、「お母さん、今日も見てて。」と母に語りながら舞台を務めました。大竹さんが、「草笛さんすい、お母さんが亡くなったその日からお母さんが乗り移つたみたいすい」と演技になった、と言いました。いい仕事をして感動してもらえなかったら母が怒ると思う。母のために生きることが、お客様のために生きることだと思つたよになりました。いつも母がそばにいる。「お母さん、いくわよ。見てて」と心の中で叫びながら舞台上に立ちました。

越路吹雪さんは56歳で亡くなったのですが最後の日々を一緒に過しました。「もっと生きたかった、もっと歌いたかった」と思います。だから、越路さんにも、「一緒に生きましょ」と語りかけています。そして困つた時には、「越路さん助けて」と自分を励まして舞台上に立っています。「ウイット」という舞台では、全裸になりました。もちろん、後ろだけです。

前には向きませんでしたけど。この舞台では、山岡久野さん、私の恋人、もとの亭主がんで亡くなった人たちへの鎮魂歌だと思つて演じました。頭も丸坊主に剃りました。シックスダンスという自分とオーバーラップした作品でした。お客さんはみんな泣いていらつしゃいました。あと3カ月の命なのに踊りたい。人間愛がいつぱいの舞台でした。トレーナーのゲイの男性で私の最後をみとる人が登場しますが、みんな、あんな男の人がいるといいな、あんな人が欲しいなあと思つたようです。男女の仲を超えて、人間愛のドラマでした。

兼高かおるさんとも、「世界の旅」で一緒に旅しました。スペインで一緒に民宿に泊まり、自炊をしました。ところが兼高さんが、椎間板ヘルニアで倒れてしまい、あなた明日から世界の旅をやつて」といわれ、途中で私ひとりで行きました。兼高さんは、最近大腿骨折をしました。それでも一緒にロシア、ニースに旅行をしようと誘われている。私が「杖ついてどうやって旅行をするの？」と聞くと、彼女は、「車椅子だ、税関でもスイスイ通してくれるからいいのよ」と言つて言つて言つて。まあ、不思議なお友達です。

人は私のことをよほど鉄人だと思つてくれるようです。身体は元気だけど、目や耳などのパーツはだめなの。いつ倒れてもおかしくない年ですからね。不平不満を言つたらだめだと思つて、元気で自分の人生をまっとうするのが私の目標です。何があつても、病気をはねのけて、「こら」というのが理想です。



若竹句会十一月作品抄

秋晴や 肌着一枚 考える

河野 一枝

〔寸評〕秋も深くなると大気が肌に寒々と感じるようになる。かと思つと「秋晴のどこかに杖をわすれけり たかし」という句があるように秋の快晴の日は、空気が澄み渡って散歩でもしてみようかと思つようになる。「肌着一枚」着るか着まいか、迷える作者の心情を言い得て妙！

秋祭 うるさくもあり 楽しくも

河野 一枝

〔寸評〕さて「うるさい」ものに何があるのか、歳時記から探してみました。騒音？と思いきや

老人に石のつらなる秋祭 桂 信子

というのがありました。「石のつらなる」は神社の石段？ 手すりがないか？ たり急な階段があったりして、高齢者には「うるさい」もの＝「やっかいなもの」にちがいないと思います。衝撃の一句。

床につき スズ虫の声 子守歌

常広 信枝

〔寸評〕「床につき」に子守歌をもつてくると「即つきすぎ」になります。(修正句) 鈴虫の声にひかれてともに寝む

広き田で 取り入れずみて 案山子ねる

常広 信枝

〔寸評〕「広き田で」は、「苦勞様とねぎらいの思いもあるのでしょう。無用になつた案山子が転がせてある風景を、「案山子ねる」としたところに作者のねぎらいが感じられる佳句です。

お庭の菊 毎年咲いて 嬉しそつ

道普 宅眞

〔寸評〕季語に「菊」もあり、「お」を除けば五七五となり一応俳句の型は出来上がっていますが下五の「嬉しそつ」がどうか、「物」で表すことはできないか。俳句上達の次の段階といえよう。

(修正句) 庭の菊毎年咲いてテーブルに

子供らの 運動会 秋晴であるよう

道普 宅眞

〔寸評〕(修正句) 子供らの運動会は晴であれ

注:「秋晴れ」の秋を省略してみました。



信廣高陽 選 (平成二十二年)

秋晴や 子供はしゃぐ 運動会

小林 花江

〔寸評〕「秋晴」も「運動会」も、ともに秋の季語です。これを「季重ね(きがさね)」といって、初心のうちには特に戒められています。

(修正句) 赤と白子供はしゃぐ運動会

注:赤勝て白勝ての応援合戦を「赤と白」に省略してみました。

秋簾 風に揺られて 泳いでる

中谷 明子

〔寸評〕夏中日除けに用いた簾を秋に入つてもしておくことがあるが、日に焼けたものや、ゆがんだままに吊つてあるのを見ると、簾も名残となつた風情が濃いもの。

(参考句) 大いなる秋の簾も風のまま 波多野爽波

この句も「泳いでる」と風情を楽しんでいる。俳人ならでは…。

稲刈りて わびしセビロの 案山子かな

中谷 明子

〔寸評〕セビロが片仮名になっているところが味噌ですね。使い古した背広、どこかで見慣れた背広。雀を追つ払う効果の方はどうでしょうか。佳句です。

七草を 憶い憶いに 指を折る

石原 守恒

〔寸評〕「憶い憶い」は、なかなか思い出せないじれったさを思わせ秀逸。このくり返しの表現はリフレインといい、読み手につよく印象付け、句全体がリズムカルになる効果もあります。

やれやつと 秋祭りある 候となり

小西 春良

〔寸評〕「やれやつと」は、あの異常な夏の暑さが遠のいて…ということのようです。

待望の 読書の候 嬉しいな

小西 春良

〔寸評〕(修正句) 待望の立読みの候となりけり

〔選者 吟〕

一鍬に 落す田の水 踊りけり

信廣 高陽



flower vegetable flower vegetable flower vegetable flower vegetable flower vegetable flower

園芸療法

「心が動けば体も動く」をテーマに

第五回

園芸療法士 西野 清子



屋上庭園から見える木々の紅葉も、とても美しくなりました。植物は5月の気温を感じると紅葉を始めます。そして紅葉が終わるといよいよクリスマスです。いわや玄関の2m40cmのツリーは圧巻です。飾り付け時に野の花のご利用者様とカウントダウン点灯式をし、とても感動的で盛り上がりました。今後さらに園芸療法を通じて、ご利用者様に感動できる場を提供できるよう努めていきます。



今月の野の花の園芸療法の時間は、花苗、球根の植えこみ、種まき、玉ねぎの植え付け、干し柿づくりなど、大忙しでした。

特に玉ねぎの植え付けでは、皆様の方が、苗をさつと並べ、土をかけて、要領よく一気に仕上げられました。



苗を目の前にすると昔の記憶がよみがえり体が勝手に動き出すのでしようね。収穫時の皆様の反応も楽しみです。

この度の植え替えて使ったパンジー(三色すみれ)は、川内にあります「コミュニティほっとスペース ぼんぼん」のニティーほっとスペース ぼんぼんの方が作られた苗を使いました。とても株が張ったしっかりした苗でした。ご親切に配達もしていただきありがとうございました。またパンジーの咲き誇った庭園を見にいらしてくださいね。



「コミュニティほっとスペース ぼんぼん」のお二人です



flower vegetable flower vegetable flower vegetable flower vegetable flower vegetable flower

3S

Specialist (専門家)

職員は、医療、看護、介護の専門家(Specialist)としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。

Sympathy (共感)

職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し(Sympathy)必要サービスを継続的に提供します。

Safety (安全)

職員は、患者様と利用者様の健康と安全(Safety)に対して細心の注意を払います。

当法人は ISO9001 の認証施設です



H22年9月16日に再認証をうけました

医療法人あすかの医療・介護関連施設

緑井3丁目20・1・103

あすか居宅介護支援事業所

082・830・5177

あすか病児保育室

緑井2丁目12・25

高橋内科小児科医院

デイサービスセンター まやるちよーく

通所リハビリテーション すてっぷ

ショートステイ みどりい

小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

毘沙門台東1丁目24・16

デイサービスセンター しゅりあちよーく

デイサービスセンター 野ばら

あすか療養センター 緑井3丁目40・30

毘沙門クリニック

ショートステイ いわや

デイサービスセンター 野の花

【編集後記】

今月号は、職員の熱い心のこもった記事が盛りだくさんです。その思いをどのように編集すれば、皆様の心に響いて頂けるかと、ご利用者様の夢の叶った時の嬉しそうな表情・職員の思い、私も熱い思いで今月号を作り上げました。
2011年も皆様に愛読される通信を目指し、頑張りますのでよろしくお願い致します。